

	滋賀医科大学 医学系分野
学部・研究科名	医学部（第1年次：100 第2年次：17） ※医学科を記載。 医学系研究科（D：30）
沿革・設置目的	医学に関する教育・研究を行うことを目的に、新設の医科大学として昭和49年に設置された。 <u>昭和49年（1974年） 滋賀医科大学医学部設置</u> 昭和56年（1981年） 大学院医学研究科設置（平成10年（1998年）医学系研究科に改称） 平成16年（2004年） 国立大学法人に移行
強みや特色などの役割	<ul style="list-style-type: none"> ○ 滋賀医科大学の理念に基づき、地域の特徴を活かしつつ、特色ある教育・研究により、信頼される医療人の育成、世界に情報を発信する研究者を養成する。特に、地域住民の協力による地域基盤型教育により、患者の立場に立った全人的医療を目指す医師を養成する。 ○ 生活習慣病疫学研究を始めとする研究や先進医療機器開発などの産学官連携の実績（しが医工連携ものづくり産学官連携拠点等）を活かした先端的で特色ある研究を推進し、新たな医療技術の開発や医療水準の向上を目指すとともに、次代を担う人材を育成する。 ○ 滋賀県と連携し、県内の地域医療を担う医師の確保及びキャリア形成を一体的に支援し、医師の偏在解消に貢献する。また、学外の医療従事者の研修を幅広く受け入れ、地域医療の質の向上に寄与する。 ○ 県内唯一の医育機関及び特定機能病院としての取組や地域がん診療連携拠点病院等の取組を通じて、滋賀県における地域医療の中核的役割を担う。